

「花燃ゆ」と関連展示「萩焼展」

NHK大河ドラマ特別展「花燃ゆ」をアーツ前橋で開催します。幕末維新を駆け抜けた長州藩の人たちゆかりの貴重な品々を、一堂に集めて公開。ドラマを見ていない人も必見です。

問い合わせは アーツ前橋 ☎027-230-1144



〈榎取素彦肖像〉明治10年代 群馬県立歴史博物館



〈高杉晋作瓢〉江戸時代後期 下関市立東行記念館



〈涙袖帖 久坂玄瑞書簡 文宛〉個人蔵



郡司喜平治〈狩野流者貴目青銅砲〉天保15年(1844年) アンパリット 軍事博物館(フランス、下関市寄託)

花燃ゆ

〈吉田松陰自賛肖像(中谷本)〉(部分) 安政6年(1859年) 個人蔵

萩焼



三輪喜雪(11代休雪) 〈鬼萩窯変割高台茶碗〉2006年 山口県立萩美術館・浦上記念館



〈6代三輪喜楽〈萩狸置物〉江戸時代後期 山口県立萩美術館・浦上記念館

■周辺駐車場



期間中は駐車場の混雑が予想されます。混雑時は上図のPを利用してください。

NHK大河ドラマの主人公公杉文(のちの榎取美和子)は、松下村塾の主宰者・吉田松陰を兄に持ち、夫となる久坂玄瑞や初代群馬県令榎取素彦、高杉晋作らと松下村塾に集い、幕末の動乱期を過ごしました。

この展覧会では、県内初公開の貴重な歴史資料や文・松陰ゆかりの品約160点を一堂に展示。松陰の志が明治という新しい時代に、上州(群馬)で大輪の花として咲き誇った様子が分かります。

また、関連展示として萩焼展を開催。山口県立萩美術館・浦上記念館所蔵の古萩から現代までの萩焼約20点を展示します。

日時 8月1日(土)～9月6日(日)、午前11時～午後7時(水曜を除く。入館は午後6時30分まで。8月1日は午後0時30分から)

観覧料 特別展・萩焼展のみ、一般 1,200円(同午後5時以降の入館者・学生・65歳以上・10人以上の団体) 1,000円(特別展・萩焼展・大河ドラマ館セット券、一般) 1,400円(同学生・65歳以上) 1,200円

■関連イベント

日時 ①オープニングセレモニー+記念講演会 8月1日(土)午前10時 ②記念講演会 8月9日(日)午前10時30分

会場 前橋プラザ元気21内3階ホール

対象 一般、先着各300人

テーマ・講師 ①は「松下村塾の双壁・高杉晋作」・下関市立長府博物館館長・古城春樹さん ②は「吉田松陰

の自賛肖像画について」・山口県立山口博物館主任学芸員・山田稔さん

申し込み 7月7日(火)から同館へ

同時開催「コレクション+アーツ前橋」

さまざまな切り口やテーマで収蔵品を展示する「コレクション+」シリーズ。前橋市ゆかりの若手作家の作品と収蔵作品を一緒に展示することで作品間の対話を促す企画です。今回は、「うちとそと」をテーマに

異文化との出会いや自己と他者のような異なるものとの間に存在する境界を意識することによって生まれた作品を紹介します。

日時 8月1日(土)～9月23日(水)、午前11時～午後7時(水曜を除く、9月23日は開館。入館は午後6時30分まで)

■関連イベント(アーツ前橋)

●川松康徳×林麻依子(両者ともに本展参加作家)×萩原朔美(多摩美術大教授) 鼎談

日時 9月13日(日)午後2時

対象 一般、先着50人

●学芸員によるギャラリートツアー

日時 8月22日(土)・9月20日(日)、午後2時～2時30分

●こどもアート探検

日時 8月2日(日)・23日(日)、9月19日(土)・午後2時～2時30分

対象 中学生以下と保護者

申し込み 同館へ



・金井訓志〈ねてまで〉1986年



・林麻依子〈月夜はさざめく風をくぎつねにする〉2011年